

愛媛県宇和海沿岸で得られたギマ

清水孝昭¹・後藤直登¹

¹愛媛県農林水産研究所水産研究センター



写真1 *Triacanthus biaculeatus* ギマ (TKPM-P 24139)

種の記録

Triacanthidae ギマ科

Triacanthus biaculeatus (Bloch, 1786)

ギマ(写真1)

標本 徳島県立博物館魚類標本(TKPM-P 24139)

採集年月日:2022年4月28日. 採集場所:愛媛県宇和島湾地先(宇和島水産物地方卸売市場にて収集). 採集方法:小型底曳網.

全長 315.2mm, 標準体長 265.6mm

種の特徴

体は側扁し、やや細長い卵型で、尾部へ向かって細くなる。背鰭は第1棘が他より著しく長い。腹鰭は長く強い1棘。尾鰭は2叉する。体色は銀白色で、体側より背部が暗灰色。第2背鰭、胸鰭、臀鰭および尾鰭は黄色味を帯びる。

備考

日本において本種はおもに北海道南部から九州南岸にかけての太平洋沿岸琉球列島にかけて分布するが(林・萩原, 2013), 愛媛県宇和海ではこれまで公式な記録がなかった(高木ほか, 2010: 辻・平松, 1987)。愛媛県では瀬戸内海側の燧灘で記録され

(TKPM-P 23061:清水, 2013), その後著者は伊予灘(松山市沖)でも標本(TKPM-P 24019)を得ていることから、宇和海沿岸にも普通に生息している可能性がある。

引用文献

林 公義・萩原清司. 2013. ギマ科. 中坊徹次編, 日本産魚類検索 全種の同定, 第三版, p. 1702, 2235. 東海大学出版会, 東京.

清水孝昭. 2013. 愛媛県瀬戸内海域より初記録の魚類. 南予生物, 17:14-35.

高木基裕・平田智法・平田しおり・中田 親. 2010. えひめ愛南お魚図鑑. 250p. 愛南町, 愛媛.

辻 幸一・平松 亘. 1987. 宇和海産魚類目録-II. 南予生物, 2:1-15.

(2022年8月3日受理, 2022年8月27日公開)

連絡先:清水孝昭(e-mail: simizu-t@sky.hi-ho.ne.jp)

(Takaaki Shimizu and Naoto Goto. 2022. First record of *Triacanthus biaculeatus* (Triacanthidae) from Uwa Sea, Ehime Prefecture. NS Fieldnote, 22003)